

# 実践事例 募集!

全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会  
(北海道大会)

令和5年度 第32回 全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会における実践事例発表者を募集します！  
多くのノウハウを全国各地の仲間に広め、共有することで、センター運営の質の向上に寄与することを目的としています。  
日頃の創意工夫に基づく実践や成功した取り組み、新たな試みなど、たくさんのご応募をお待ちしています！

応募締切：令和5年6月26日

社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会

## 1 応募資格

- 地域包括支援センター および 在宅介護支援センター 関係者
  - ・ 市区町村等行政職員、社会福祉協議会職員を含みます。本会の会員に限りません。
  - ・ 同一センターから複数の応募も可能です。

## 2 応募方法

- ① 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会のホームページへアクセスし「[応募フォーム](#)」から申込をしてください。
- ② ホームページから「発表要旨原稿 (Word)」をダウンロードし、発表内容の概要を記入のうえ、本会事務局へE-mailでご応募ください。

(応募フォーム) <https://forms.gle/QxfHiDCKbDdbPq2x5>  
(ホームページ) <http://www.zaikaikyo.gr.jp/>  
(提出先) [z-konen@shakyo.or.jp](mailto:z-konen@shakyo.or.jp)  
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 事務局 宛  
(応募締切) 令和5年6月26日(月)



## 3 発表要旨原稿

- 原稿は下記に基づき発表内容の概要を記載してください。
  - ・ Microsoft : Word
  - ・ A4判2頁以内(横書き)
  - ・ 1頁: 38字×38行(図表含む)
  - ・ 文字サイズ: 12pt
- その他、作成上の注意事項
  - ・ 文献を引用した場合には、**出典を明記**してください(2頁の原稿に含む)。
  - ・ 事例等を記載する際、**個人や団体等の特定につながるような記述は避けてください。**
  - ・ 人物にイニシャルを使用する場合には、**実際のものではなく、A、B、C…と順に記述**してください。
  - ・ 採用された事例の発表要旨原稿は大会資料(抄録集)として印刷します。
  - ・ 原稿全体の表記統一のため、事務局で若干の修正を加える場合があるほか、採択後に修正等をお願いすることもあります。

## 4 審査等

- 本会研修委員会にて採否を決定します。
- 応募いただいた方には採否を令和5年7月上旬頃にお知らせいたします。
- 実践発表が決定した方には、発表当日のレジュメデータを8月18日までにご提出をお願いいたしますので、あらかじめご承知おきください。詳細は採否のお知らせ時にご案内いたします。

## 5 実践発表方法

- 令和5年度 第32回 全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会の会場(北海道立道民活動センター かでる2.7)にて実施します。
- 感染症等の感染拡大状況によっては、事前収録による発表もお選びいただけます。
- 発表の詳細は、採用時のお知らせとともにご案内いたします。
- お一人当たりの発表時間は10分を予定していますが、全体の実践発表数等に応じて前後する場合がありますことを、あらかじめご承知おきください。



# 6 発表テーマ

- 希望する発表分科会と発表テーマをそれぞれ選択してください。

## 発表分科会

第1分科会  
**虐待防止**  
・ **権利擁護**

助言者(予定): 平野隆之 氏  
(日本福祉大学大学院 教授)

第2分科会  
**地域づくり**  
(多機関連携、地域住民活動の掘り起こし等)

助言者: 未定

第3分科会  
**災害に備える**  
(BCPの策定、地域包括支援センターとしての災害対応等)

助言者(予定): 加來留 氏  
(菊池市社会福祉協議会 事務局長)

## 発表テーマ

※複数選択可

**A** Withコロナにおける取り組み  
・ オンラインを活用した相談・会議、在宅高齢者のフレイル予防等

**B** 総合相談と相談体制の強化  
・ センター休所日の相談体制の構築、多分野の相談受付・支援等

**C** 権利擁護・虐待防止  
・ 成年後見制度利用促進・普及、虐待や消費者被害防止等の対応、啓発、ネットワークづくり等

**D** ケアマネジメント支援の取り組み  
・ ケアマネジャーの個別支援や専門職連携体制の構築、地域におけるケアマネジメントの理解促進等

**E** 地域ケア会議の取り組み

**F** 医療・介護連携の取り組み

**G** 介護予防・生活支援に向けた取り組み  
・ 総合事業、生活支援体制整備、生活支援コーディネーター、地域の担い手養成等

**H** 認知症に関する取り組み  
・ 初期集中支援チーム、地域支援推進員、若年性認知症の支援、認知症カフェ等

**I** センターの機能強化・人材育成  
・ センター職員の人材育成、3職種に「準ずる者」の効果的な配置、在宅介護支援センターと地域包括支援センターとの連携、機能強化型・基幹型センターの取り組み等

**J** 災害に備える取り組み

**K** その他

# 7 その他

- 発表者の大会参加費は本会にて負担いたします(本会会員センターのみ)。
- 旅費・宿泊費・撮影(録音)にあたり発生した費用等は、発表者ご自身にてご負担ください。
- 全国研究大会における実践事例として発表いただくとともに、本会各種広報媒体(会報誌・ホームページ等)や他の研修会などにおいてご紹介・ご協力をお願いする可能性があることを、あらかじめご承知おきください。

## ● お問い合わせ先 ●

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 事務局 (担当: 仁木)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部内  
TEL. 03-3581-6502 / FAX. 03-3581-2428 / E-mail [z-konen@shakyo.or.jp](mailto:z-konen@shakyo.or.jp)  
ホームページ <http://www.zaikaikyo.gr.jp/>